

教材名	幸福の王子	教科書	学研（教出・2年、光文・2年付録、東書）	学年	3年
内容項目	感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもつこと。			

内容項目のとらえ方  
(子どもの実態を踏まえ)

人のために自分の命を犠牲にする生き方は「美しい」「気高い」のだろうか。自他の生命の尊重を基本に、人が幸せになることをめざしてとりくむところに感動し、畏敬の念をもつのではないだろうか。

## 授業の展開

子どもたちの活動	指導上の留意点
<p>1. 最初から王子の像がみにくくなっていくところまでを読む。</p> <p>2. 発問について考え意見をだしあう。</p> <div data-bbox="268 712 740 954" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大騒ぎになる。・事件になる。</li> <li>・警察が犯人をさがす。</li> <li>・宝石や金をもらった人がお金にかえたら逮捕される。 など</li> </ul> </div>	<p>長い物語なので、ゆっくり内容をつかみながら読ませる。</p> <div data-bbox="767 640 1358 855" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>発問</p> <p>王子の像を誇りに思っていた町の人たちは宝石がなくなったり、金のはがされたりしているのに気づいたらどうなるだろう、</p> </div> <p>宝石や金を運んであげるより、もっとよい方法があるのでは？という投げかけをしておく。</p>
<p>3. 残りを最後まで読み、つぎの発問について考え意見を出しあう。</p> <div data-bbox="268 1128 740 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つばめを死なせてしまって申し訳ない。</li> <li>・早く南の国へ帰してあげればよかった。</li> <li>・でも、人のためになってよかったのかもしれない。 など</li> </ul> </div>	<p>発問</p> <p>つばめが死んだ時、王子はどんな気持ちになっただろう。</p> <p>いろいろな意見をたたかわせてみるのもよい。ここでも、つばめの命を奪わなくてもすんだのではないか？という投げかけをする。</p>
<p>4. 発問について考え意見を出しあう。</p> <div data-bbox="236 1570 740 2047" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宝石や金を売って町の人のために使うようにする。</li> <li>・貧しくても医者に診てもらえたり、薬をもらえたりする制度をつくる。</li> <li>・子どもがマッチ売りをしなくていいような社会をつくる。</li> </ul> <p>などという王子の考えを、つばめはメッセージとして町長に伝えたあと南の国に旅立ち、町長はそれを実行に移す。</p> </div>	<p>発問</p> <p>ほんとうに困っている人たちのために、王子とつばめができたことはどんなことだっただろう。</p> <p>いろいろな意見を出していいことを子どもたちに伝える。</p> <p>オープンエンドで終わる。</p>